

# かざおか暦

CALENDAR

6/10(金)
11(土)ひったか-P16
12(日)おしぐらんど-P16
13(月)
14(火)
15(水)
16(木)
17(金)
18(土)
19(日)父の日
20(月)
21(火)
22(水)
23(木)2005ミスノオープン(~26日)-P16
24(金)
25(土)
26(日)ふれあいセミナー開講-P17
27(月)
28(火)
29(水)
30(木)おかげいち
7/ 1(金)
2(土)
3(日)白石島海びらき-P18 笠岡市長杯ヨットレース
4(月)
5(火)
6(水)
7(木)七夕
8(金)
9(土)第1回笠岡市ニュースポーツ大会



# 瞳輝いて



鳥越菜々子さん  
(大宜)

## 海外で演奏できるようになりたい!

「琴は、弦から音が出るのではなく、木から音が出る感じなんです。その音をどこまで遠くまで飛ばせるか、というのがとても難しいですね。」と語る鳥越さんは現在、山陽女子高校の1年生。

昨年の7月に福山市で開催された「第22回小・中学生箏曲コンクール」では、中学生の部で最優秀賞、個人のMVPとも言える牧本賞にも輝きました。さらに、今年4月には平成16年度の岡山芸術文化賞準グランプリに選ばれました。

4歳の頃から琴を始め、現在はそのほか三味線やピアノも演奏しているという鳥越さん。高校でも音楽を専攻しています。

とにかく今後、音楽を生活の中心においておきたいそうで、「今は音楽大学に入ることが目標です。将来的には、演奏家や先生にもなりたいし、海外で演奏できるようになれたらいいなと思っています。」と語ってくれました。

金浦のひったかと並ぶ伝統行事「おしぐらんど」が、今年三月に市の文化財に指定されました。おしぐらんどは、紅白二隻の和船に六人ずつが乗船し、先を競う行事です。

もとは旧暦五月五日、端午の節句の行事だったそうですが、現在ではそれに近い土曜日の夜にひったかを、翌日



市指定重要無形民俗文化財  
金浦のおしぐらんど

曜日の昼間におしぐらんどを挙げており、多くの観客が訪れています。

この行事の起源は、ひったかと同じく源平合戦にあるといわれています。

かつて金浦は漁村であり、たくさんの和船がありました。おしぐらんどは競技船にはその年の新造船が使用され、勝てば一年間豊漁といわれたため船主は勝敗にこだわり、喧嘩も珍しくなかったといわれています。

この伝統行事も、漁業者の減少から昭和三十六年を最後に一旦中止となっていました。しかし、廃絶を惜む地元の人たちの努力により昭和六十二年に復活し、以後毎年挙行されています。現在使用している六尋船と五尋船は、かつての和船を再現したもので、おしぐらんど保存会のメンバーや、金浦中学校の生徒たちがこれに乗ってレースを繰り広げます。

歴史を訪ねて... 笠岡市の文化財